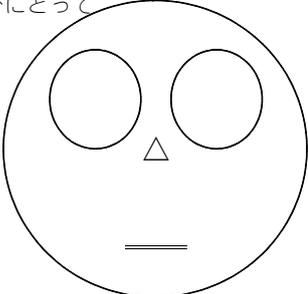
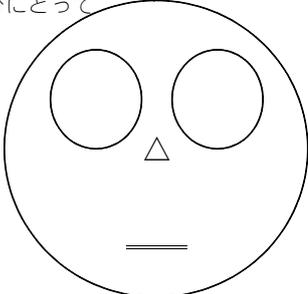
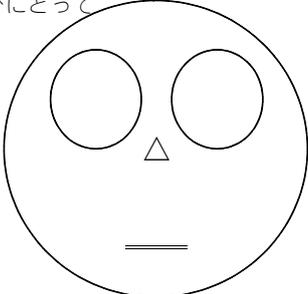
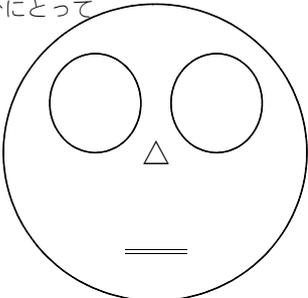
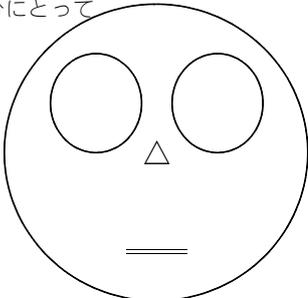
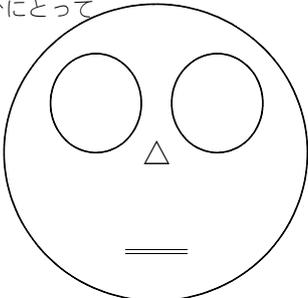


観察のスキル

最近、「NLP」という心理学の理論が流行しています。「NLP」とは、「Neuro Linguistic Programming」の略で、「神経言語プログラミング」と訳されています。人間の現実の認識の仕方を、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の五感と言語の観点から研究したものです。

「NLP」では、五感のどの感覚を優位に使って認識しているかというタイプを3つに分けています。相手の優位な感覚を使って話をすると、盛り上がります。そのためには、相手がどのタイプかを観察することが必要です。

1.	2.	3.
<ul style="list-style-type: none"> ・「見る」という言葉をよく使う。 ・目の前にもものがあるように話す。 ・手のひらを下に向ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「聞こえる」「考える」という言葉をよく使う。 ・論理的に話す。 ・手を耳の辺りで動かす。 ・腕組みをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「感じる」という言葉をよく使う。 ・自分の体に確かめるように話す。 ・手で体の中心を軽く叩く。 ・体の動きが多い。
<p>自分にとって</p> 	<p>自分にとって</p> 	<p>自分にとって</p> 
<p>未来のことや作りごとをイメージしている</p>	<p>これから聞く音をイメージしている</p>	<p>体感覚を感じている 今の感覚を確認している</p>
<p>自分にとって</p>  <p>記憶された過去の絵を思い出している</p>	<p>自分にとって</p>  <p>記憶された音を思い出している</p>	<p>自分にとって</p>  <p>自分との会話をしている</p>